

## 2015年3月期 連結決算ハイライト

- 経常利益は、史上最高益229億円を達成
- 当期純利益は、税制改正の影響を受けたものの、見通しを上回る115億円を達成

◇売上高	11,171 億円	0.2% 増収
◇営業利益	221 億円	11.9% 増益
◇経常利益	229 億円	13.6% 増益
◇当期純利益	115 億円	△ 2.8% 減益

損益の状況						
(単位:億円)	2014/3期 通期	2015/3期 通期	前期比		2016/3期 通期	
			増減額	増減率	見通し	前期比 増減率
売上高	11,145	11,171	26	0.2%	12,000	7.4%
売上総利益	864	914	50	5.8%	950	3.9%
販売費・一般管理費	666	693	27	4.0%	-	-
営業利益	198	221	23	11.9%	240	8.5%
受取配当金	8	11	3	-	-	-
利息収支	△ 29	△ 25	3	-	-	-
持分法損益	7	11	4	-	-	-
為替差損益	24	18	△ 6	-	-	-
その他	△ 7	△ 8	△ 1	-	-	-
営業外収支	4	8	4	-	-	-
経常利益	202	229	27	13.6%	230	0.5%
特別損益	△ 11	4	15	-	-	-
税金等調整前当期純利益	191	233	42	22.1%	-	-
法人税等及び少数株主利益	73	118	45	-	-	-
当期純利益	118	115	△ 3	△ 2.8%	125	9.0%
1株当たり当期純利益 (円)	28.09	27.30	△ 0.79	△ 2.8%	29.75	9.0%

【売上高】  
車両・航空セグメントの増収が寄与し、26億円の増収。

【営業利益】  
電子・デバイスセグメントおよび車両・航空セグメントが全般的に好調であったため、23億円の増益。

【経常利益】  
営業利益の増加に伴い、27億円の増益。史上最高益を記録。

【当期純利益】  
経常利益の増加や兼松日産農林の連結子会社化に伴う特別利益の一方で、平成27年度税制改正に伴う税金費用の増加により、3億円の微減。

資産・負債及び純資産の状況				
(単位:億円)	2014/3末	2015/3末	前期末比	
			増減	増減率
総資産	4,285	4,590	306	7.1%
グロス有利子負債	1,419	1,361	△ 58	△ 4.1%
ネット有利子負債	680	676	△ 4	△ 0.6%
株主資本	907	999	92	10.2%
その他の包括利益累計額	△ 190	△ 98	92	-
少数株主持分	245	286	41	16.6%
純資産合計	962	1,187	225	23.4%
自己資本 (注1)	717	901	184	25.7%
1株当たり純資産 (円)	170.54	214.10	43.56	25.5%
自己資本比率 (注2)	16.7%	19.6%	2.9pt改善	-
ネットDER (注3)	0.9倍	0.8倍	-0.1pt	-

【有利子負債】  
グロス有利子負債は58億円減少。ネット有利子負債は4億円減少。

【純資産】  
当期純利益による利益剰余金の積上げや為替相場の変動による為替換算調整勘定の改良等により、225億円増加。純資産から少数株主持分を除いた自己資本は184億円増加。

上記の結果、自己資本比率は19.6%に改善。ネットDERは0.8倍。

(注1)自己資本=純資産-少数株主持分 (注2)自己資本比率=自己資本/総資産 (注3)ネットDER=ネット有利子負債/自己資本

ROE	18.7%	14.2%	-4.5pt	-
-----	-------	-------	--------	---

キャッシュ・フローの状況			配当の状況	
(単位:億円)	2014/3期 通期	2015/3期 通期	2015/3期	
営業活動によるCF	224	101	中間配当 ※	1株当たり 2.5 円
投資活動によるCF	△ 11	△ 89	期末配当 (予定)	1株当たり 1.5 円
フリーキャッシュフロー	213	12	年間配当 (予定)	1株当たり 4.0 円
財務活動によるCF	△ 94	△ 99	※ 中間配当の内訳: 普通配当 1.5 円 記念配当 1.0 円	
換算差額	16	25	【2016/3期】	
現金・現金同等物の増減	135	△ 62	中間配当 (予想)	1株当たり 2.5 円
			期末配当 (予想)	1株当たり 2.5 円
			年間配当 (予想)	1株当たり 5.0 円
			2014/3期 2015/3期 2016/3期	
			連結配当性向	10.7% 14.7% 16.8%

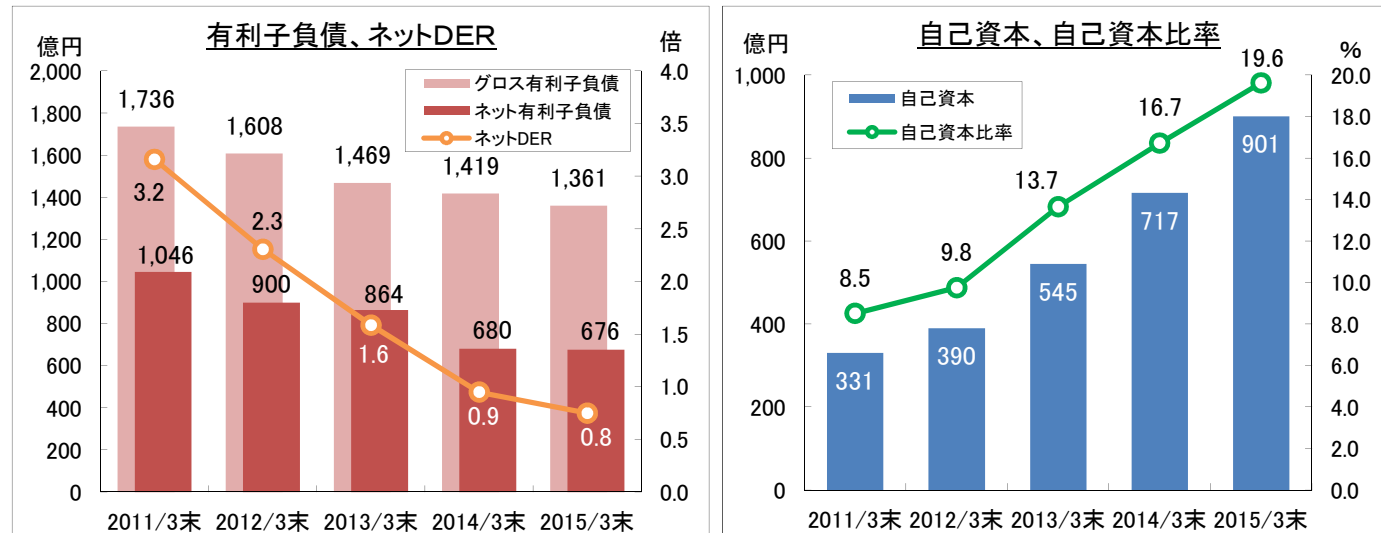
セグメント情報						
(単位:億円)	売上高(外部売上高)			営業利益		
	2014/3期 通期	2015/3期 通期	前期比 増減	2014/3期 通期	2015/3期 通期	前期比 増減
電子・デバイス	2,773	2,765	△ 8	78	99	22
食料	3,090	3,077	△ 13	21	19	△ 2
鉄鋼・素材・プラント	4,688	4,678	△ 10	81	73	△ 8
車両・航空	545	597	52	15	28	13
報告セグメント合計	11,097	11,118	21	195	219	24
その他(含む調整額)	49	53	5	3	2	△ 1
総合計	11,145	11,171	26	198	221	23

【電子・デバイス】 減収増益  
電子機器・電子材料事業および半導体部品事業は、全般的に好調。中でも、車載関連ビジネスは、国内外における需要の拡大に伴い伸長。ICTソリューション事業は、企業の積極的なインフラ設備投資を受け、堅調に推移したほか、モバイル事業も好調。

【食料】 減収減益  
畜産事業は、需要増を背景に堅調に推移。食糧事業は、穀物取引、飼料取引ともに順調。一方、食品事業は、消費税増税以後の個人消費の落ち込みや円安による輸入仕入価格の上昇等の影響を受け苦戦。

【鉄鋼・素材・プラント】 減収減益  
プラントインフラ事業は、東南アジアにおける風力発電プラントの大口受注案件や国内における工作機械・産業機械取引が好調。鉄鋼事業は、欧米向けの自動車用特殊鋼取引が堅調に推移した一方、主力の油井管事業では需要の弱さが見受けられた。エネルギー事業は、夏場の需要減や原油価格の下落が影響して苦戦。

【車両・航空】 増収増益  
航空・宇宙事業は、航空機部品取引が好調。車両・車載部品事業は、二輪・四輪車用部品取引を中心に全般的に堅調に推移。



\* 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
\* 記載の数値は億円未満を四捨五入しておりますので、個別数値と合計数値が異なる場合があります。